

岡三フィデリティ・グローバル・コア 株式ファンド(為替ヘッジなし) (愛称 ザ・ディスカバリー)

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2023年3月28日～2023年9月27日

交付運用報告書

第2期(決算日2023年9月27日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(愛称 ザ・ディスカバリー)」は、このたび、第2期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米国を中心に世界の取引所に上場されている中型企業の株式(これに準ずるものを含みます。)等に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第2期末(2023年9月27日)

基準価額	10,766円
純資産総額	11,128百万円
第2期	
騰落率	17.8%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

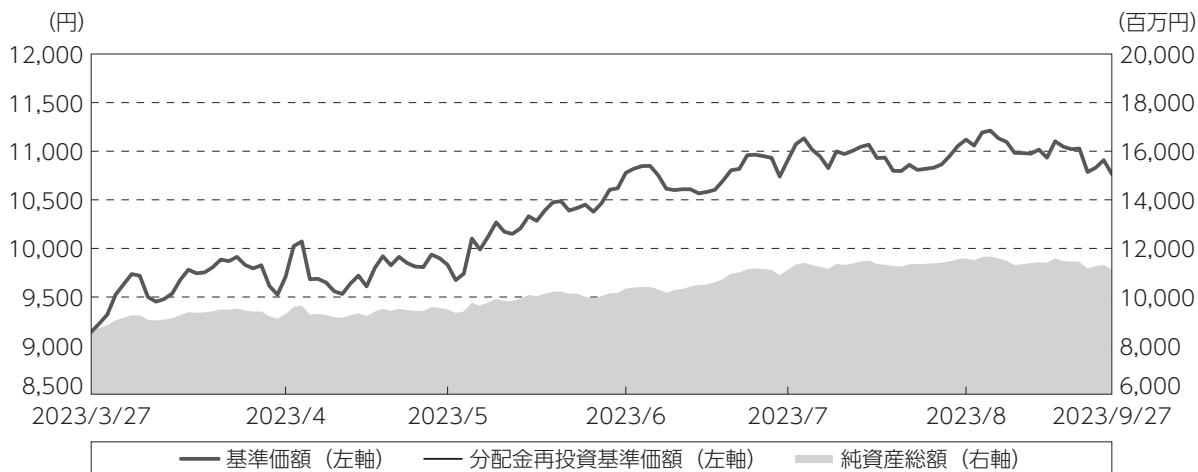
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年3月28日～2023年9月27日)



期 首：9,141円

期 末：10,766円(既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：17.8%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年3月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国のヘルスケア株やエネルギー株、テクノロジー機器株の株価上昇がプラス要因となりました。個別銘柄では、MOLINA HEALTHCARE INC、HESS CORP、CRANE NXT COなどの組入れがプラス要因となりました。
- ・為替市場において、米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・米国の地方銀行株や包装メーカー株、インドの事務管理サービス株の株価下落がマイナスに影響しました。個別銘柄では、FIRST HORIZON CORPやO-I GLASS INC、WNS HLDGS LTD SP ADRの株価下落がマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2023年3月28日～2023年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	66	0.636	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(20)	(0.194)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.431)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	67	0.643	
期中の平均基準価額は、10,329円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

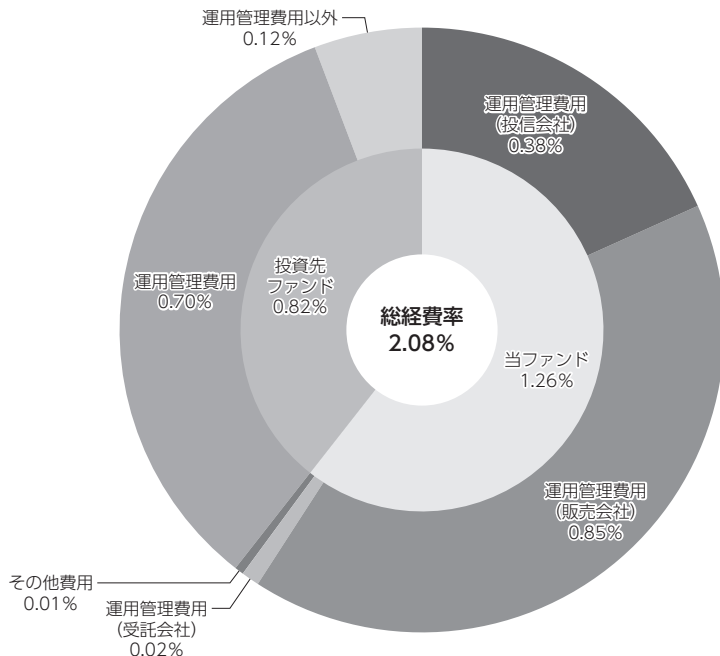
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.08%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.26
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月27日～2023年9月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2022年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2022年9月21日 設定日	2023年9月27日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,766
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.7
MSCI World Index (配当込、円換算ベース)騰落率 (%)	—	17.5
純資産総額 (百万円)	5,500	11,128

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年9月27日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) MSCI World Index (配当込、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

(2023年3月28日～2023年9月27日)

当期の世界主要国の株式市場は概ね上昇しました。期初から2023年5月末にかけては、米国では、金融不安による経済活動への影響や追加利上げに対する警戒感が残ったものの、大きな混乱はなく、方向感なくもみ合う展開となりました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）やイングランド銀行（BOE）の金融引き締め姿勢が警戒されたことからジリ安の展開となりました。6月から7月にかけては、米国において利上げサイクルの終了が意識されるようになり、投資家心理が改善しました。インフレ懸念が後退し、景気悪化懸念が和らぐ中、米国株は上昇しました。8月から期末にかけては、米国では、根強いインフレ圧力や景気の底堅さなどから追加利上げの可能性が意識され、米長期金利が上昇する中、米国株は下落しました。欧州では、域内の軟調な経済指標や、中国の不動産大手企業の経営不安を背景に中国の景気後退懸念が再燃したことが嫌気され、欧州株は下落しました。

為替（米ドル／円）は、期中に上昇（米ドル高／円安）する展開になりました。2023年7月の日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まった局面において米ドル／円に下落の動きが見られたものの、米国債金利の上昇に伴う日米の金利差拡大を背景に、米ドル／円は上値を試す展開が足元にかけて続きました。

国内短期金融市場では、植田日銀新総裁が就任した後の金融政策決定会合において、現状の金融緩和政策の維持が決定されたことから、1年国債利回りが-0.1%台半ばへ低下しました。しかしその後、2023年7月の金融政策決定会合において、長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の運用柔軟化が決定されたことを受け、金融緩和の修正期待が高まったことから、1年国債利回りは-0.06%近辺まで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年3月28日～2023年9月27日)

<岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(愛称 ザ・ディスカバリー)>

「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」、「マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ」を主要投資対象とし、「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れて運用を行いました。

○フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主として米国を中心に世界の金融商品取引所に上場されている中型企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

個別銘柄選択にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる徹底的な企業分析や直接面談による調査を活かした「ボトム・アップ・アプローチ」により、魅力的な投資機会の発掘に注力しました。当期においては、インフレおよび金利上昇に対する耐性や、収益成長力に対する株価の割安さを重視して銘柄選択を行った結果、金融セクターや資本財・サービスセクターの投資比率を高め維持しました。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

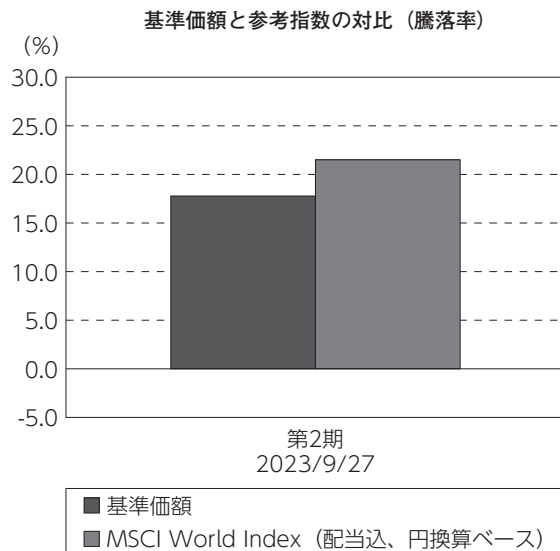
○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月28日～2023年9月27日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、MSCI World Index(配当込、円換算ベース)です。

分配金

(2023年3月28日～2023年9月27日)

当ファンドは年2回、3月および9月の各月の27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

当期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2023年3月28日～ 2023年9月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	766

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

世界主要国の株式市場では、中央銀行の金融引き締めペースが緩和し、かつ底堅い景気が続くとの期待が高まっています。しかしながら、インフレの高止まりや今後の個人消費悪化のリスクには警戒が必要であり、市場の予想する2024年の企業収益の水準は高すぎるように見受けられます。また、今のところ中国の不動産セクターからの影響は限定的ですが、中国経済の動向や投資家センチメントに与える影響にも注意が必要と考えています。

為替市場(米ドル/円)は堅調地合いが継続すると予想されます。米国と日本の金利差が引き続き高水準であることから、相対的に金利の低い円を売り、相対的に金利の高い米ドルを買うことで金利差の獲得を狙う、いわゆる「円キャリートレード」に支えられる展開を想定しています。

国内短期金融市場は、当面日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれますが、日銀の植田総裁はマイナス金利解除のための物価・賃金データが2023年末までに揃う可能性があると言っていることから、日銀の利上げリスクが意識される展開を想定しています。こうした投資環境の中、1年国債利回りは0%をやや下回る水準で推移すると予想します。

<岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(愛称 ザ・ディスカバリー)>

「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」を高位に組み入れて運用を行います。

○フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

引き続き「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」受益証券を組み入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行います。

運用においては市場の短期的な動きに惑わされず、長期的な企業ファンダメンタルズに照らして、割安な株価水準で投資をすることがこれまで以上に求められます。ファンドでは徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付き、確信を持てる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行わない方針です。

○マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

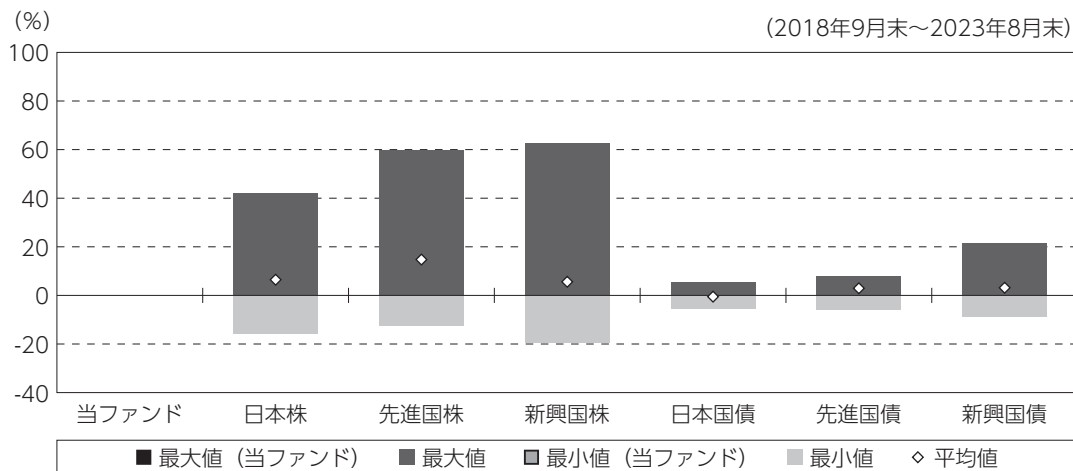
SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2023年7月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年9月21日から2027年9月27日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国を中心に世界の取引所に上場されている中型企業の株式* (これに準ずるものを含みます。)等に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※中型企業の株式とは、主要な株価指数において中型株式に分類されている銘柄およびそれと同等の時価総額の銘柄をいいます。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)およびマネー・インベストメント・マザーファンドⅡを主要投資対象とします。
	フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を中心に世界(日本を含みます。)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を主要な投資対象とします。
	マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチに基づき銘柄を選定します。フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の組入比率は、高位を保つことを基本とします。	
分配方針	年2回、3月および9月の各月の27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マネー・インベストメント・マザーファンドⅡの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	-	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、該当期間の騰落率がないため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

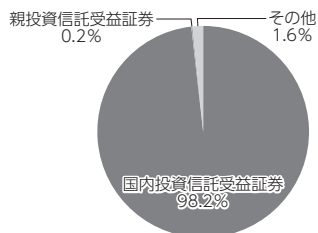
組入資産の内容

(2023年9月27日現在)

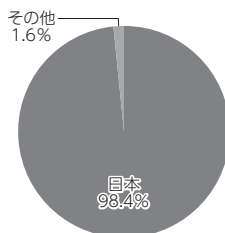
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
	%
フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	98.2
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2
組入銘柄数	2銘柄

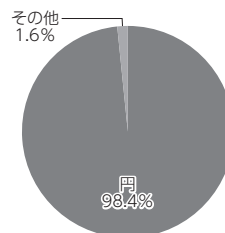
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

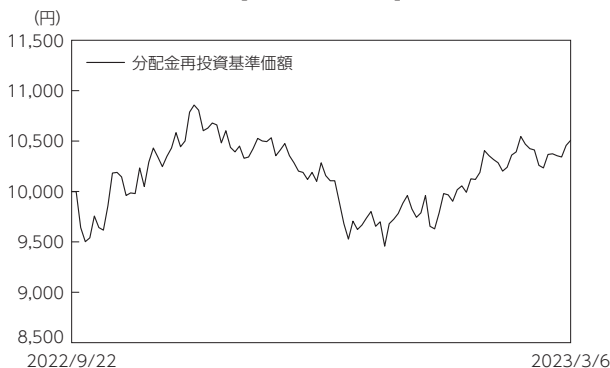
項目	第2期末
	2023年9月27日
純資産総額	11,128,672,774円
受益権総口数	10,336,681,083口
1万口当たり基準価額	10,766円

(注) 期中における追加設定元本額は2,911,526,235円、同解約元本額は2,027,011,176円です。

組入上位ファンドの概要

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年9月22日～2023年3月6日)

項目	当期	
	金額 (円)	比率 (%)
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	33 (32) (1) (1)	0.325 (0.310) (0.005) (0.010)
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 証 券)	4 (4) (0)	0.041 (0.038) (0.003)
(c) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)
(d) その他の費用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0) (0)	0.056 (0.054) (0.001) (0.001)
合 計	43	0.428

期中の平均基準価額は、10,159円です。

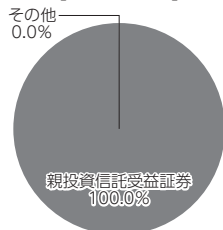
- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

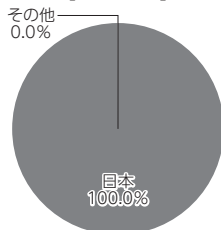
(2023年3月6日現在)

銘 柄 名	第1期末
フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド	100.0 %
その他	0.0
組入銘柄数	1銘柄

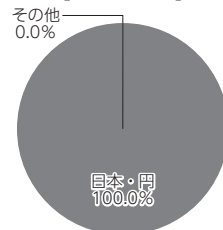
【資産別配分】



【国別配分】



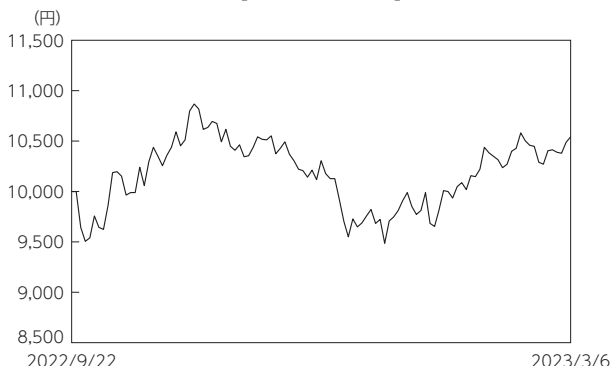
【通貨別配分】



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<ご参考> フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年9月22日～2023年3月6日)

項 目	当 期	
	金	額
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 証 券)	4 (4) (0)	円
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	6 (6)	
合 計	10	

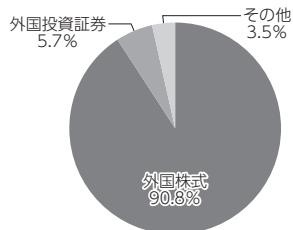
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

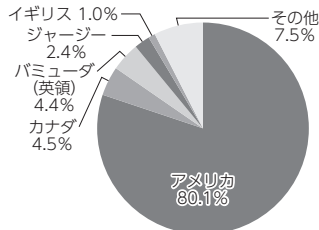
(2023年3月6日現在)

	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1	ARCH CAPITAL GROUP LTD	保険	アメリカ・ドル	バミューダ(英領)	2.1%
2	HESS CORP	エネルギー	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%
3	MOLINA HEALTHCARE INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.6%
4	AECOM	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	1.6%
5	CHENIERE ENERGY INC	エネルギー	アメリカ・ドル	アメリカ	1.5%
6	WNS HLDGS LTD SP ADR	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	ジャージー	1.4%
7	BUILDERS FIRSTSOURCE	資本財	アメリカ・ドル	アメリカ	1.4%
8	AMERICAN FINANCIAL GROUP INC	保険	アメリカ・ドル	アメリカ	1.4%
9	FIRST HORIZON CORP	銀行	アメリカ・ドル	アメリカ	1.4%
10	IMPERIAL OIL LTD	エネルギー	カナダ・ドル	カナダ	1.3%
	組入銘柄数		154銘柄		

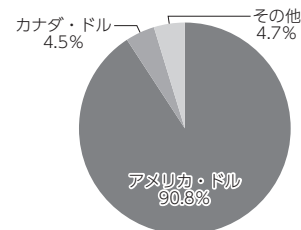
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

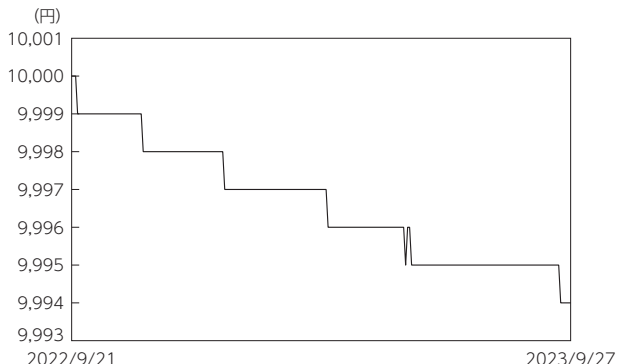
(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年9月21日～2023年9月27日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、9,996円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

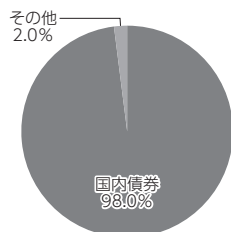
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

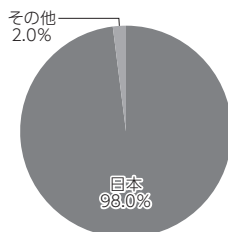
(2023年9月27日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第209回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	22.6%
2 第211回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	18.9%
3 第16回政府保証民間都市開発債券	特殊債券	円	日本	18.8%
4 第207回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	15.1%
5 第213回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
6 第204回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数	6銘柄			

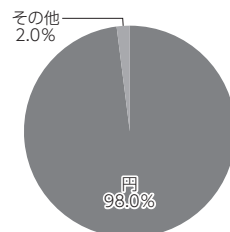
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<当ファンドの参考指数について>

MSCI World Index (配当込、円換算ベース)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。